

昭利町民大会だより

第

37

号

平成18年4月25日 3月定例会



平成18年度予算	2
3月定例会で決めたこと	4
村の姿勢を問う 4名が一般質問	8
聞きたい知りたいみんなの声	15

平成18年度
昭和村

予算

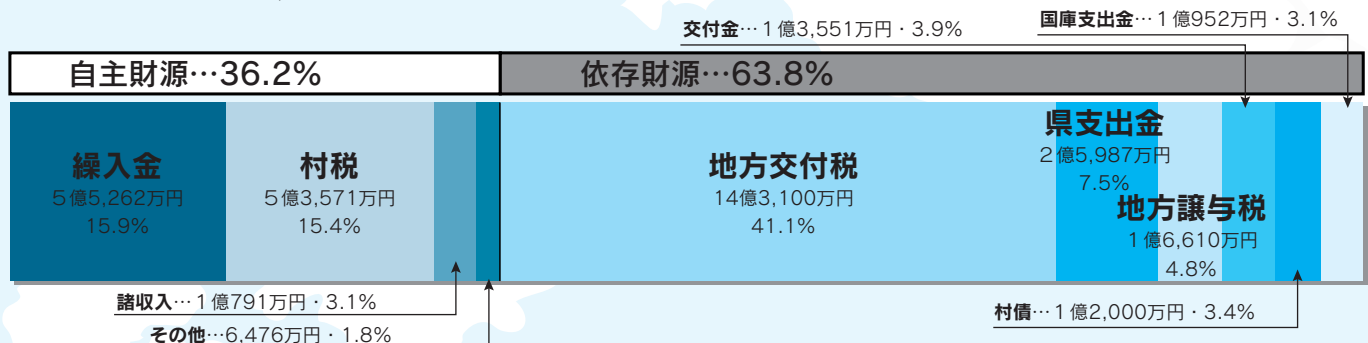
減額予算の中で最大の効果を
自立への効果的な予算編成

平成18年度予算が、総額60億2,667万円、前年度より約6億円の減額予算で決定されました。自主自立を決めてから2年が経過した昭和村にとって、厳しい財政運営は避けて通れません。

三位一体改革による地方交付税の減額は、これからの村づくりに重大な影響を与えることは確かです。そのような状況の中で、限られた財源を有効に活用できるよう、

34億8,300万円 歳入

前年度より 5億3,200万円(13.3%)の大幅減

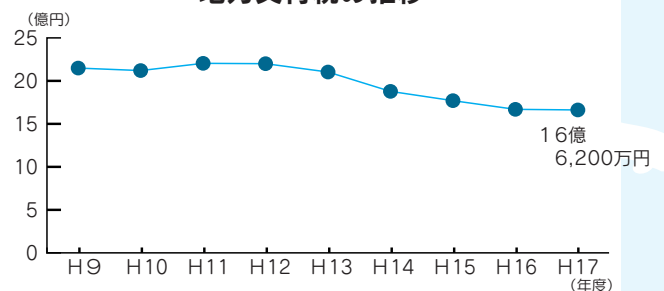


■歳入

村税などの自主財源は36.2%。一方、地方交付税などの依存財源は63.8%で、依然として厳しい財政状況におかれています。

産業基盤の整備をはじめとした基金の繰入は、財政調整基金が4億3,261万円、赤城西麓事業基金が7,000万円、減債基金が5,000万円で、基金の取り崩しは昨年度に比べて減額ですが、村債についても1億2,000万円を計上しました。

地方交付税の推移



農林水産業費

- ぐんま地域農業「夢」支援事業(パイプハウス設置事業等)
- 農地適正管理のための農地台帳システム作成
- 横浜市交流事業(アンテナショップ開設のための調査)
- 農道2号線工事

土木費

- 森下・赤城原線拡幅に伴う測量調査

消防費

- 第7分団詰所建設工事

教育費

- アメリカ・イーグルポイント市交流事業

平成18年度 昭和村予算総額

60億2,667万8千円

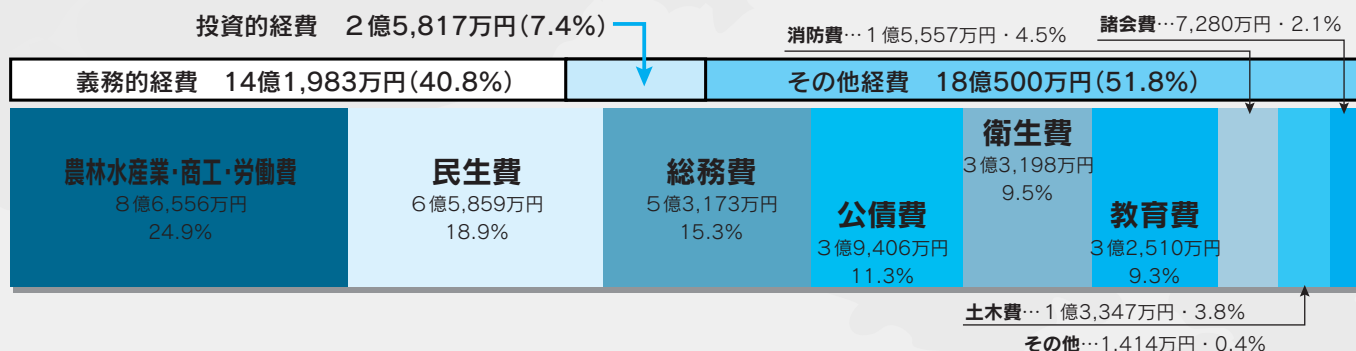
最大限の努力が必要です。
「ベジタフルガーデン昭和村」
にふさわしいきめ細かい施策を行
い、住みよく活気あふれる村づく
りを進めていきます。

特別会計

国民健康保険事業特別会計	8億3,003万8千円 (▲8,042万9千円)
老人保健事業特別会計	7億8,253万円 (▲1,931万円)
簡易水道事業特別会計	1億2,394万8千円 (422万1千円)
農業集落排水事業特別会計	3億2,341万円 (203万8千円)
介護保険特別会計	4億8,375万2千円 (2,909万1千円)

(カッコ内の数字は前年度比)

歳出 一般会計



■歳出

性質別にみると義務的経費（支出が義務づけられており任意に削減できない）が14億1,983万円で、歳出総額の40.8%を占めています。その内容は、人件費が7億3,456万円で前年度比1.9%の増、扶助費2億9,121万円で6.3%の増、公債費3億9,406万円で15.9%の減、全体では3%の減です。

普通建設事業に使われる投資的経費は2億5,817

万円で、歳出総額の7.4%を占めます。堆肥の発酵施設等の整備が終了したため前年度比66.2%の減です。今年度の主な事業は農村総合整備事業及び農地等高度利用促進事業等の継続実施、第2保育園の園舎改修工事、消防団7分団詰所の整備等です。

その他の経費として、物件費、補助費、繰出金等がありますが18億500万円で歳出総額の51.8%、前年度比0.9%の増です。

今年度の主な事業

総務費

- 役場玄関補修工事
- 戸籍・住民基本台帳システム更新
- 議会議員、農業委員会委員選挙

民生費

- 身体障害者デイサービスセンター運営管理委託事業
- 児童手当支給事業（小学6年生まで延長）
- 第二保育園アスベスト対策及び外壁改修工事
- 学童保育対策事業

衛生費

- ごみ指定袋作成費

定例会

3月定例会

3月定例会は、3月9日(木)から20日(月)までの12日間の会期で開催されました。18年度当初予算案をはじめとする議案29件、諮問1件、承認1件が上程され、全て原案のとおり可決されました。

一般質問では、4名が登壇し村の姿勢を問いました。

昭和三公の施設の指定管理者の指定について(昭和村総合福祉センター)

福祉センター「昭和の湯」

の指定管理者として村社会福祉協議会を指定する議案については、2時間以上にもわたって審議が行われました。議長をはじめとする社会福祉協議会関係議員3名が除斥という異例な中で本会議となりましたが、採決の結果、賛成多数で可決されました。

〈主な質疑〉

問 村から社会福祉協議会へ出している180万円の補助金は、グリーン

スコレ(株)が指定管理者となっても出すのか。

答 2社から福祉センターの運営について提案

があった中で数字であり、出すとか出さないとかは決めている。



問 村長は指定管理者選定審議会の委員の選任について、福祉センターのことをわかつている方を選んだのか。審議も不十分で、自己責任の回避ではないか。

答 審議会委員さんは内容を認識しており、十分審議して答申をいただいたと思っています。

問 審議会委員に議員が一人も入っていないかつた理由は。女性委員はいたのか。

答 議決を最後にもらうので入れない方がいいと思った。女性一人もいませ

ん。

問 自立して行く中で競争原理を入れて指定管理者を公募したいと言明したが、その理由は。

答 福祉のために補助金をもらってつくった施設であるが、赤字を減らすため公募を提案した。

問 社会福祉協議会が営利目的の事業をして問題ないのか。欠損が出た場合の対応は。毎年赤字が続いているにもかかわらず努力が見られない社協の経営が、急に上向くとは考えられない。

答 社会福祉協議会の関係については、審議会の審査をいただいたことから、内容については答えられないが提出された計画書に準じて経営してくれるものと理解している。

承認

承認

一般会計補正予算

500万円追加

総額

42億4,384万6千円

キヤノン電子株式会社から、昭和村花火を上げる会に500万円の寄附の申し込みがあったため。

(全員賛成)

条例制定

昭和村国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例

国の「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」に基づき村の対策本部を設置するために制定。

(賛成多数)

昭和村国民保護協議会条例

昭和村国民保護協議会の組織及び運営に必要な事項を定めるもの。

(賛成多数)

条例の一部改正

昭和村の区の設置及び組織に関する条例

永井上組、永井下組が合併し永井区となったため。

(全員賛成)

昭和村在宅介護支援センターの設置及び管理に関する条例

村社会福祉協議会に委託されている在宅介護支援センターの設置と運営について介護保険法の改正に伴い4月から村直営の「包括支援センター」を開始するため。

(全員賛成)

昭和村介護保険条例

3力年ごとに見直すことになっている介護保険料について、1人当たり基準月額3,342円(年額4万1,000円)となり、所得に応じて6段階に保険料が設定されます。

(賛成多数)

昭和村福祉医療費支給に関する条例

(全員賛成)

昭和村廃棄物の処理及び清掃に関する条例

「生ごみ専用袋」を廃止し、「燃やせるごみ専用袋」と「燃やせないごみ専用袋」の2種類を指定袋とし、ごみの分別とリサイクルを徹底してごみの減量化を進めるため。

(賛成多数)

昭和村小口資金融資促進条例

借換制度の期間が再度1年間延長となりました。

(全員賛成)

昭和村営駐車場の設置及び管理に関する条例

岩本駅の村営駐車場について、無料だった短期利用者からも料金(村内者200円/日、村外者300円/日)を徴収することになりました。

(全員賛成)

昭和村職員の給与に関する条例

今回の改正は、職員の初

任給・昇格・昇級等の基準について見直しを行うもので、昇級を行う場合は1年間の勤務成績に応じて行うなど、人件費の抑制策を盛り込んだ。

(賛成多数)

その他

利根沼田広域市町村圏振興整備組合の規約変更

同組合の議員定数を22人から8人に変更。

(賛成多数)

昭和村公の施設の指定管理者の指定

昭和村通所介護施設「昭和の里」の指定管理者を村社会福祉協議会に指定。

(全員賛成)

群馬県市町村総合事務組合の規約変更

(全員賛成)

村道路線の廃止について

(全員賛成)

村道路線の認定について

(全員賛成)

補正予算

平成17年度

一般会計

2,704万7千円追加

総額

42億7,089万3千円

子育て保育園改築工事、大雪による除雪費等の増額など。

(全員賛成)

国民健康保険事業特別会計

181万6千円追加

総額

9億1,228万3千円

(全員賛成)

老人保健事業特別会計

62万6千円追加

総額

8億3,279万5千円

(全員賛成)

簡易水道事業特別会計

290万円追加

総額

1億2,522万7千円

(全員賛成)

農業集落排水事業特別会計

3,652万円減額

総額

2億9,377万2千円
(全員賛成)

介護保険特別会計

1,392万8千円減額

総額

4億4,262万2千円

(全員賛成)

人事

人権擁護委員に織田澤寛示氏



織田澤寛示氏
(椽久保南部)

教育委員会委員に綿貫征二氏再任



綿貫 征二氏
(森下中組)

常任委員会のうとむ



バス路線延長要望箇所を現地調査

「総務常任委員会」

3月15日行われた総務常任委員会では、付託された予算、請願・陳情について審査を行いました。

平成18年度一般会計予算の歳入全般及び歳出の当委員会への付託議案については三位一

体改革」により、地方交付税の減額が毎年

のように行われ、大変厳しい財政状況であり、当面事業の見直し、歳出削減を図り、自主財源の確保による健全な財政運営を望むという



大河原学童クラブが開所

「民生文教常任委員会」

3月16日に行われた民生文教常任委員会では、付託された18年度予算について慎重審議・意見交換を行いました。自立支援介護給付費については、障害者自立支援法の4月施行により、実施主体が村となったことで予算計上されました。また、や

さしい村づくりを推進する中で、障害者のデイサービスセンター・学童クラブの設置による管理運営委託料、児童手当の支給年齢の引き上げによる児童手当費、第二保育園のアスベスト対策及び外壁等の改修工事費などが予算計上されました。

教育費では、必要最小限の予算計上となっています。

福祉・教育と、村民の皆さんに直接関係のある大事な予算であり、厳しい財政状況ではありませんが、効率の良い予算執行をお願いしました。

「産業建設常任委員会」

3月14日に行われた産業建設常任委員会では、付託された予算、請願・陳情についての審査を行いました。

村道入沢3号線入沢川整備に伴う余剰地部分の舗装の陳情については、現在のフェンス

をできる限り水路側に寄せるなど、今後沼田土木事務所との協議をお願いし、全会一致で採択しました。

次に18年度一般会計予算では、農地の適正管理のため農地台帳システムの整備や「夢」



廃ポリマルチの放置が問題となっています



岩本駅駐車場

のとおり可決されました。
次に昨年6月定例会から継続となっていた吹張地区の国有地払下げの件では、区と個人との話し合いが難しいことから全会一致で審議未了としました。

また、追分区から提出された、追分開協前から沼田営林署系之瀬苗畑までのバス路線の延長の要望書については、未舗装、相互通行できない現状等の問題、また、現在路線バスの

運行について見直しを検討していることから今後の調査研究が必要とのことで、全会一致で継続審査としました。生越地区のサーキット場建設計画予定地、千年の森スポーツセンター建設計画地、昭和村営駐車場（岩本駅駐車場）などの現地調査を行いました。

また、国土交通省で、岩本駅周辺の国道17号線改良工事を計画しており、本村の駐車場用地の一部が買収される予定との報告がありました。



昭和東学童クラブにて

また、村内3つの小学校への設置が整った学童クラブを視察見学し、子供たちが自主的に宿題を行い、宿題が終わると校庭で友達と自由に遊び回る姿を見て、保護者も安心して預けられるすばらしい施設であると感じました。昭和南学童クラブ

では、1年生だけで17名の申し込みがあり、学童クラブへの期待の大きさを感じます。4月7日には大原学童クラブの開所式が行われました。



農道2号線工事

支援事業の要望が多いことから当局に事業推進をお願いしましたが、補助事業等の関係で流動的である旨説明がありました。

また、横浜市との交流を目的としたアンテナショップを本年度から推進していくとの報告がありました。

土木費では、今後も少ない予算の中で、道路の安全確保のため、適切な村道の維持管理に努めていただきたいと思います。

次に簡易水道事業特別会計予算では、石綿管の布設替工事を予算計上しており、引き続き、安全な生活用水の確保と安定供給など維持管理を重点においた運営を望みます。

また、県企業局で実施している昭和関屋工業団地分割道路工事、廃ポリマルチの放置カ所、農道2号線など9件の現地調査を行いました。

一般質問



高橋幸一郎 議員

悪臭防止の抜本的対策は

問

「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」により昭和村においても施設整備がされ、循環型の農業が今後ますます盛んになることを期待していますが、畜産経営に起因する環境汚染、特に悪臭に対する対策が重要となります。EM菌、炭等の商品は悪臭対策だけでなく、農業の基本である土づくりにも大きな働きがあることも立証されています。そこで、悪臭防止の抜本的対策として、畜産農家、

有機肥料生産事業者に対してEM菌等購入のための補助金を設け、使用を義務づけることが急務と考えるが、

答 村 長

村の活性化と農業振興を考えると、いかに村へ人を呼び込めるかが大きな課題であり、悪臭は障害であると考えている。悪臭防止対策は各事業者の責任において対処すべきものと考えているが、EM菌使用の義務づけと合わせて検討させていただきます。

農産物加工施設の運営は

問

昭和39年4月1日に施行された「昭和村農業振興連絡協議会」の具体的活動内容と指導体制が形骸化しているが、今後の具体的農業振興施策についてどう考えているか。

また、昭和村農産物処理加工施設「飛躍」については、平成9年3月に、5,500万円の事業費を投入し「昭和村さくら工房」の施設管理により運営されてきたが、利用日数、人数も当初

答 村 長

の半分となり、年間200万300万円の売上も平成16年度には77万円と落ち込み、組織の存続すら危ぶまれている。今後の村の対応は。

昭和村農業振興連絡協議会につきましては、確かに現在では形骸化し、活動状況が把握できないことは否

めませんが、今後におきましては、そうした組織の必要性や存続も含めて検討していきたいと考えております。

また、農産物処理加工施設「飛躍」につきましては、10年目を一つの節目と考え、もう一度原点に返り、利活用についても併せて再検討していきたい。



農産物処理加工施設「飛躍」



小野 一男 議員

姿勢問題

自主自立の村づくり対策は

問

平成18年度の予算に、新しい施策、事業への積極的な取り組みが盛り込まれているのか。また、村の行政改革推進本部の活動はどのようなものか。

答 村 長

関屋工業団地に3社が進出を決定し、雇用の拡大等が見込まれる。将来ある若者が地域に定住できるように、残りの区画についても企業誘致を進めたい。また、望郷ライン線を含め、県道昇格に努力したい。18年度のおもな事業は、横浜市との交流を目的としたアンテナショップ開設のための調査、消防団第7分団詰所の整備、農地台帳システム作成、介護支援センター及び障害者自立支援支援給付の開始、ごみ処理への新たな取組み等です。

行政改革推進本部は、村長、助役、幹部職員で構成され、行政改革に係る重要

事項を策定し実施する。下部組織として行政サービス推進委員会を置き、本部より付託されたことについて調査・検討を行っている。

今年度は公用車の数の見直しや、事務改善について再検討していきたい。

問

村長、助役、幹部職員合同の定期的なミーティングは行っているのか。

答 村 長

今のところ行っていないが、若手職員の研修は指示している。



借止賃貸による村営住宅（大河原地区）

定住化を図る村営アパートの建設を

問

村の活性化には企業誘致も大事だが、若い世代の招致はもつと大事である。若者に定住してもらうことが、村の活性化には不可欠です。そこで、15年間の家賃と同額程度で建設できる村営アパート（土地50㎡60坪、建坪15㎡16坪の2LDK）をつくり、そこに15年以上入居した方には、無償でそのアパートを贈与するということができれば、村への定住者が増えるのではと考えた。村は住民税等諸々が見込め、入居者も新築時の大金もいらず、15年経てば自分の持ち家になります。このような村営アパートの建設についてどう思うか。

答 村 長

現在、村営住宅については、借上賃貸住宅事業により大河原地区に8棟あり、入居希望者に2割の家賃補助を行い、その金額は年間

105万6千円です。若い世代の人口増と定住化対策は、昭和村を元気づけてくれる要因であり、工業団地に進出される企業等のニーズを把握した上で検討していきたい。企業進出を機に、下段地域の農振除外や環境と調和のとれた宅地転用を進め、土地の斡旋や宅地開発施策も検討し、活力ある村づくりを行っていきたい。

問

住宅ができ人口が増加すれば下水道施設等、諸々の施設の経費削減になる。若者が定住する村づくりに努力願いたい。

答 村 長

住宅についても鋭意努力し、調査研究を始めていきたい。



林 幸司 議員

野菜の残留農薬自主検査への援助を

問 ポジティブリスト制度への対応・対策、自主検査への援助を求めます。

を徹底したい。

自主検査は、安価な免疫測定イムノアッセイ法であっても人材や費用的に厳しい。県・県議会に「自主検査費用の補助陳情」を続けたい。

答 村 長

今後、ドリフト低減ノズル講習会など飛散防止対策

上中野地区大規模養鶏場反対を

問 説明会で、土地の用途変更を申請している7人の村民は、土地売却が目的であって養鶏に携わる意志は全く無いこと。

約4万羽という計画は、約4万羽という計画は、

諸手続きを回避したいだけで、100万羽規模の巨大養鶏場計画がはつきりした。

住民は、鳥インフルエンザで命にかかわるからこそ断固反対している。その意

向を尊重し、反対を表明するよう求めます。

答 村 長

2万羽以上の農業用施設用

住宅の耐震改修補助制度を

問 住宅耐震リフォーム工事が増えれば、業者の仕事も増え経済波及効果も大きく、村民の命と安全にも寄与でき一石二鳥。

村の建築物の耐震化率・改修促進計画・補助についての考えと、耐震リフォーム補助制度創設を求めます。

答 村 長

県の住宅耐震化率は約

途変更は農水大臣との協議が必要。村農業振興地域整備促進協議会に諮問し保留となっており、6月に再度慎重審議いただく予定です。

69%。本村の公共性の高い建築物は40%です。

耐震改修促進計画は、県の計画を勘案して策定し、耐震診断補助事業も合わせて検討します。

また、リフォーム相談窓口を設置し、補助制度確立にも鋭意努力します。

道州制に反対を

問 道州制と第2次平成の大合併に反対を。

答 村 長

先に道州制ありきで時期

尚早と思います。

自立の道を歩んでいます。これからの叡知をお借りし、活力ある村づくりを進めていきたい。

障害者自立支援法への対応は

問 定額10%の応益負担原則で、授産施設利用者は、毎月食費や光熱水費の実費を支払わなければならない。障害者年金が半分に減らされたのと同じです。どうやって生きていくというのか。

いままでのサービスすら受けられない事態が起きないよう万全の対策を求めます。

答 村 長

現在のサービス利用が継続できるよう、できる限り支援していきたい。

地域生活支援事業は、広域圏での実施も可能であり、単独が良いか検討を進めています。

「夢」支援事業への対応は

問 夢支援事業に対し、各組合に村で補助金を交付しているが、今後村が窓口となり地元業者が参加できるよう進める考えはあるか。

答 村 長 入札参加業者の指名は、事業主体である各組合が行うものです。村内業者でも工事が可能なものについては、適宜、村内業者を指名いただくようお願いしていきたい。

問 J Aに夢支援事業の推進をお願いしてきた訳であります、村は何か指導してきたか。

答 村 長 それぞれの事業内容、事業主体によって違いはあるが、J Aと連携をし、十分協議を行い、適切な事業実施を検討していきたい。また、J Aが事業主体であっても、工事の発注業者の報告を求めていく。



石井 清司 議員



「夢」支援事業により設置された防風ネット

入札制度について

問 設計・入札、発注の流れは。

答 村 長 設計に関しては、職員ができるものは職員で設計し、国県の補助事業等においては、設計会社及び土地改良連合会に委託しています。発注及び指名業者の選定

については、入札の公平な執行を図るため、入札審査会に付議しなければならぬことになっている。

審査会は、委員長に助役、委員には、関係職員6名で構成されており、工事の設計金額に応じて内容の検討を行い、指名業者が選定され、その内容が答申されます。

入札は、発注者(村長)と担当課長の立会いのもとで、業者に入札書を提出させ、最低価格を提出した業者が予定価格より下回れば落札業者となり、請負業者が決定します。

問 落札業者が下請けに出す場合があるが、契約者としてどう考えるか。

答 村 長 下請けとは思っていません。共同で助け合いながらということ、理解しています。

問 随意契約額130万円を下げる考えはあるか。

答 村 長 今のところ130万円を

変える考えはありません。工事を発注した段階で再工事などが生じた場合、再発注をするより安いと判断した場合は随意契約を行っていますが、できる限り、随意契約はしないように考えています。

[DATE . . .]

特別委員会から

赤城西麓土地改良事業対策特別委員会

3月13日開催

県営赤城西麓土地改良事業の平成16度の明許繰越事業について、3月に完成をし、本村の採択された事業がすべて完了されたとの報告がありました。

今後、赤城西麓土地改良区においては、次の事業が推進されます。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 赤城西麓土地改良事業の推進 | 3. 水利用の促進 |
| 2. 国営造成施設管理体制促進事業 | 4. 維持管理等の賦課徴収 |

また、維持管理の中で、本管が破損した場合の制水弁を誰もが止められるようにわかりやすくすることや、給水栓の保護対策などの検討をお願いしました。

農業集落排水事業対策特別委員会

3月13日開催

3月7日現在、農業集落排水事業の接続状況は、貝野瀬・生越地区84.2%、糸井・三ツ谷地区64.8%、昭和南地区65.5%、永井・入原地区39.3%、4地区全体の接続状況は、公共樹1,569の設置に対し、1,017の接続で、接続率は64.8%という状況です。また、戸別浄化槽事業の設置状況は544基の計画に対し、2月末現在220基の設置で、設置率は、40.44%です。

今後の課題は、この事業の目的である環境保全と適正な維持管理を行うための、接続率及び設置率の向上です。

村民皆様のご協力をお願いいたします。

全員協議会から

昭和ORCサーキット場(仮称)建設事業について

1月20日開催

小倉クラッチ株式会社(桐生市に本社を置く自動車部品メーカー)が、生越地区のゴルフ場建設が断念された約120^{ヘクタール}の土地のうち50～60^{ヘクタール}を利用して、サーキット場建設を計画していることから、その概要説明を受け協議しました。

コース延長2.5キロメートル、ダートコースも併設し、年間約20～30万人の集客を見込んでいる。村としては、さらに「道の駅」や「イベント広場」の併設により観光の拠点としたい考えもあるが、騒音等の問題や地権者の皆さんの意志が大切であることから、地元地検者会の意向を見守るとともに慎重に調査することとしました。

村道除雪費用について

大雪により12月18日から1月10日までに除雪費1,800万円の全額を使い切り、その後の費用については3月議会での補正をお願いしたい旨の説明があり、皆承認しました。除雪費については利根沼田地域で単価が決まっているため、今後は除雪ボランティア等の協力によって除雪費の縮減ができないかなど協議しました。

なお、毎年、地域において除雪にご協力いただいている村民の皆様には心より感謝いたします。

介護保険条例の改正について

3月2日開催

平成18年度より3期目の大幅な制度改正がなされる介護保険制度について、4月からの介護保険料を458円増の3,342円(前期比)に決めた経過や、制度改正の主な内容が報告されました。

[DATE . . .]

昭和村総合福祉センターの指定管理者選定経過報告

総合福祉センターについて指定管理者を公募した結果、2社から応募があったことから議会に選定経過が報告されました。村長の諮問に基づき任命された公の施設指定管理者選定審議会委員7名により、両者へのヒアリングや申請書の内容審査を行った結果、全会一致で昭和村社会福祉協議会を指定管理者として答申することが決まった経緯が説明されました。福祉センターの運営は現在、村から委託された社会福祉協議会が行っています。平成14年度から赤字経営が続いており、議員からは、「指定管理者になったからといって黒字に変えられるのか。余程の経営手腕がなければ難しい。民間に任せてはどうか。」と反対する意見も出されました。

アスベスト調査結果報告

昨年12月行われた、公共施設のアスベスト含有建材等測定結果が報告されました。役場庁舎2階が含有量、飛散の可能性共に高いことがわかったが、今年度予算での改修は見込んでいない。第二保育園については、外壁にアスベストを含んだ建材が使用されており、飛散の可能性は低い、外壁の老朽化に伴い18年度の当初予算で改修工事費が計上されました。

昭和村営駐車場の設置及び管理に関する条例の改正について

岩本駅にある村営駐車場については、月極契約、短期利用共に利用者が増加している。現在4日間まで無料(5日目以降1日122円)で貸し出している短期利用について、家族・知人の名義を利用して無料で借り続ける状況が発生していることから、1日目の利用から、村内者200円、村外者300円の料金を徴収し、15日間の利用制限も設けたいとの提案が当局よりありました。



関越交通(株)路線バス見直し案について

3月20日開催



関越交通(株)に運行委託している路線バスは、年々利用者が減少し、運行費の村の持ち出しが多くなっています。また、車両買い換えの時期を迎え、多額の支出が見込まれることから、経費の節減を同社に要望。現在、3路線を4両のバスで運行しているが、3両での運行も可能であり、大幅な経費の削減が見込める旨の見直し案が報告されました。利便性を極力損なわず運行経費を縮小できるように、また、児童生徒の路線バス利用についても協議しました。



吉野藤彦議員

自治功労者表彰

全国町村議会議長会表彰

吉野藤彦議員が、15年以上にわたり地方自治の振興と、地域の発展及び住民福祉に貢献されていることから、全国町村議会議長会より表彰されました。また、群馬県知事より感謝状が贈られました。

[DATE . . .]

筑波サーキット視察

2月26日



ゴルフ場建設が断念された生越地区に、小倉クラッチ株式会社（本社＝桐生市）がサーキット場建設を計画していることから、サーキットの実態や問題となる騒音等把握するため、レース開催日に合わせて筑波サーキットの視察を行いました。

施設や周辺環境、レースの様子や観客数、ブースの出店状況等視察するとともに、騒音測定を行い、進出した場合の対応について検討しました。

関係地権者会の人たちとも現地で合流し、話をする中で、「地域の活性化につながるなら。」と誘致に前向きな姿勢もみられました。

養鶏場開発計画地元説明会に参加

3月4日

中野地区の採草地に、大規模養鶏場が建設される計画について、地元対策協議会が大河原住民センターで説明会を開催。議員・農業委員も出席して説明を聞きました。

計画をしている富山県のタカムラ鶏園の社長やその関係者、地権者団体の人たちの説明を聞いて、集まった約150人の参加者から次々に、開発に反対する意見が出され、さながら反対集会のようでした。



みなさんからの請願・陳情

自 平成17年5月27日 至 平成18年2月28日

受理番号	受理年月日	件名	陳情者の住所・氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
104	H17.5.27	吹張地区内国有地払下に関する陳情書	吹張区長 豊野 耕司	小野 一男 高橋幸一郎	総 務	審議 未了
119	H17.12.1	要望書 路線バスの運行について	追分区長 生方一之助		総 務	継続
120	H18.2.13 (郵送受付)	「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情	群馬県国家公務員労働組合共闘会議 議長 生方 和義			配布 のみ
121	H18.2.16 (郵送受付)	患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかる医療」を求める陳情書	群馬県社会保障推進協議会 野上 恭道			配布 のみ
122	H18.2.28	陳情書 村道入沢3号線入沢川整備に伴う余剰地部分の舗装のお願いについて	入沢区長 前原 光一	関上 正雄	産 建	採択



昭和村に嫁いで



須藤貴美子さん
(赤城原第一)

四月の空を埋めつくさんばかりに泳ぐ鯉のぼりに、故郷の新潟にはない風通しの良さを感じてから早や24年。人生の半分をこの村で過ごしたことになります。

その長さと相反するように村民の実感がわかず、未だによそ者気分なのは、酪農という仕事柄、交流する時間を持ちにくかったからだと思います。

相次ぐ合併の中、農業で自主自立の道を選んだとはいえ、現実には総世帯数の三分の一。兼業も含めてであり、就農者の半分以上を六十五歳以上の

方が占めています。

ところが近年、酪農、野菜を問わず、都会の若者が農業をするために多数就職したり、中国からの若い研修生も毎年来村するようになったのです。村の住人ではないけれど、勤務地として昭和村にいる限り、「この村のことを知ってもらいたい。親しんで第二の故郷になったらいいのに。」と思います。

住人であっても、村の施設を利用することもなく、村の知識もなく、聞かれても答えられないことが多いのではなでしょうか。例えば、バスの村内ツアーや歴史講座、趣味やスポーツの同好会の紹介など、村内外に向けて発信してもいいのではないのでしょうか。地元を知り、他との交流で刺激を受け、活性化する村の将来に期待を持って、遅まきながら、私も一緒に動き出したいと思っています。



堤 恵理子さん
(入原下)

昭和村に嫁いで早や10年になります。

こちらに来て最初に感じた事は、野菜が甘くておいしいという事です。私の前橋の実家も農家で、米・野菜等を作っていたので、その違いは本当によくわかりました。

友達がいなかったもので、すぐに若妻会に入りました。若妻会、婦人会、

老人会等、地域の交流活動も盛んで、年をとつても楽しく過ごせるのではないかと思います。

我が家もそうですが、三世代同居という家も多く、子供が学校から帰っても誰かが家に居るといのがとても安心で、子育ての上で貴重な経験ができると思います。子供が近所の友達と遊ぶ時も、お互いの家に親が居ない場合も、祖父母が居てくれるので安心して往来させることができます。地域の人たちを身近に感じられ、子供だけで外で遊んでいても、いろいろな人の目があり、隣近所のつながりがあるというのは犯罪も少ないように思います。

学校への通学路も自然があふれ、友達との行き帰りの途中で草花を使った遊びを覚えたりと、村ならではの楽しさがあるようです。

このままの自然がずっと続いていく事が、この村の一番の財産になると思います。



このページは、村民皆様の声を聞くコーナーです。声をお寄せください。議会事務局 (☎24-5111) まで

傍聴記



高橋 里子さん
(吹 張)

議会を傍聴して思うこと

選挙で選ばれた代表の皆様が、どのようなテーマで審議をされているのか興味をひかれ、初めて傍聴させていただきました。

18年度予算など、私たちの身近な議題が真剣に審議されているのを目の当たりにして、神聖な気持ちになるとともに、凛とした空気が伝わってまいりました。

特に印象深かったのは、温泉センター(福祉センター)の指定管理者制度(公共施設の運営を民間に委託する)で、村から維持管理をするのに適当だと指名された社会福祉協議会と、「赤字は、経営努力で改善できる」と意見を述べる民間会社側の資料が説明され、休憩を挟む程の白熱した審議が展開されたことです。

指定管理者制度を温泉センターの運営にも当てはめると、「経営(利益と福祉)」という、矛盾した2つの目的の合意点をどの辺にするのか、なかなか難しいものだと思いました。

帰宅して、家人にミニ議会報告をしました。どうしたら温泉センターのリピーターが増やせるか、話がすすみました。まずは、村民の皆様のアイデアを募集したらいいのではないかということでした。例えば、庭のバラの花を持ち寄って湯に浮かべるなど、自らがすすんで温泉に行く気持を高めるような、ワクワクした内容の「毎月のテーマ」があることも楽しいと思いました。

財政が厳しい折、少しでも赤字を削減したいという皆様の真摯な思いにふれることができました。

今まで、「他人事」と無関心でしたが、実は身近で、一人一人が問題意識をもって考えることにより、議会の傍聴も意義となります。考えるチャンスをいただきありがとうございます。

議会の動き

1月

- 8日 ●第48回昭和村成人式
- 9日 ●昭和村消防団出初式
- 16日 ●正副議長・委員長会議
- 17日 ●議会広報編集特別委員会
- 20日 ●議会全員協議会
- 24日 ●千葉県芝山町議会「議会だより」研修で来村
- 28日 ●第24回「私と家族」作文発表会

2月

- 5日 ●第38回ピンポンフェスティバル
- 11日 ●ウインターフェスティバルIN昭和2006
- 22日 ●県町村議会議長会定期総会
- 25日 ●第12回昭和村生涯学習大会記念講演会
- 26日 ●筑波サーキット視察

3月

- 2日 ●議会全員協議会
- 3日 ●議会運営委員会

- 4日 ●養鶏場開発計画に伴う地元説明会
- 9～20日 ●第22回昭和村議会定例会
- 12日 ●第24回村民芸能祭
- 13日 ●昭和中学校卒業式
- 20日 ●平成17年度昭和村福祉大会
- 23日 ●南小学校・東小学校・大河原小学校卒業式
- 28日 ●第一保育園・第二保育園・子育保育園卒園式
- 30日 ●議会広報編集特別委員会

編集室から

この冬は何十年ぶりの豪雪で、みなかみ町では積雪が3メートルを超えたところもありました。幸い昭和村では、大きな被害もなく春を迎えられました。

3月末で第一幕が終わった平成の大合併は、市町村の地図を大きく塗り替え、全国では1400余りの自治体が姿を消し、1821の市町村となりました。

群馬県は70市町村が39となり、自立を選んだ昭和村は、沼田・渋川市に囲まれ、利根郡の飛地のような形になりました。

国の三位一体改革のありを受けて成立した新年度予算は、緊縮型となりましたが、自立への効果的な財政運営を願わずにはられません。

4月からは、平成の大合併の第二幕が始まる。

保坂初次 記